

阗 こがくらだより

第3号

令和7年 5月 88 長崎市立小ヶ倉小学校 校長 桐山 充晴

【学校教育目標】自ら考え、判断し、人と共により良く生きようとする心豊かな子供の育成

ゴールデンウィークが終わりました。それ ぞれの御家庭におかれましては、どのような 過ごし方をされたのでしょうか。子供たちの 声の中には、「〇〇へ行った」「家族で〇〇を した」など、思い思いに楽しく過ごした様子 が伝わってきました。

さて、運動会本番まで残り1週間余りとな りました。先月末からスタートした練習も、 どの学年も急ピッチで頑張り、最後の仕上げ を行っているところです。「**えがおで協力 み** んなかがやけ、小ヶ倉っ子」のスローガンの もと、どの子ももっている力を十分に発揮し、 きらきらと輝くことでしょう。お楽しみに。

運動会に向けて

今月18日(日)に予定されている「運動 会」ですが、今年度も、昨年度までと同様に、 午前中開催としています。どの子ももってい る力を十分に発揮し、きらきらと輝くことで しょう。それと同時に、運動する心地よさや 競走する楽しさを味わってほしいと思います。 また、保護者の皆様には、演技や徒競走に一 生懸命取り組む子供たちに、応援と称賛の大 きな拍手をお願いいたします。

また、今年度は、育正会が中心となり、保 護者競技「綱引き」が実施されます。子供た ちに負けない熱戦が期待できそうです。皆様 の参加はもちろん、熱い声援をお願いします。

ところで、その運動会の練習に合わせ、運 動場に新しく砂を入れました(風雨で流され たり飛ばされたりして、石が露出してくるた め。)。全校児童が安全に、そして安心して演 技や競技ができるように、5年生と6年生の 子供たちが協力して作業してくれました。

黙々と作業するステキな姿に、「感謝」の 思いと同時に、「感心」しました。

子供たちが他者を思う 優しい心と思いやりの心 がこれからもたくさん表 れるように、時には教 え、時にはそっと背中を



押していけるようにしていきます。御家庭で も御支援いただけるとありがたいです。本年 度のテーマのとおり、「考動(考えて動く)」 することで「子供が『育つ』瞬間」です。

授業参観・懇談会・総会のお礼

今月2日の授業参観及び懇談会への出席、 大変ありがとうございました。

新しい学年になって(入学して)初めての 授業参観等でした。4月にふさわしい、「が んばるぞ!」という意欲が伝わる様子が多く 見られたのではないでしょうか。

「いつもと同じように張り切っている子」 「いつもと違って張り切っている子」など、 緊張した中にも、それぞれの子供たちの意気 込みを感じられたはずです。このちょっとし た変化を大人が見逃さず、褒めることができ ると良いですね。

また、懇談会後に開催され た育正会総会にも多くの方が 出席していただいたことに対 しお礼を申し上げます。

※総会で話した「学校経営」についての資料は、上の QR コードか ら御覧いただけます。





連休中の終盤は少し天気が崩れましたが、 思い思いの休日を過ごされたことと思います。

そんな「雨」も時にはやっかいですが、植 物の生長にとって欠かせないものが、「雨の日」 であり、また「晴れの日」です。どちらもち ょうどよい加減で繰り返されることで、幹や 枝は大きくなり、葉は勢い良く茂ります。雨 ばかり降っていれば、植物は根が腐って育ち ません。逆に、晴れの日ばかりでも、水分が なくなって枯れてしまいます。植物の生長に は反対のもの同士が必要となります。

子供の心の成長にも雨と晴れのようなまっ たく逆なものが必要だと思います。それは、 「やさしさ」と「きびしさ」です。「やさしさ」 だけでは甘えやわがままが前面に出ます。ま た、「きびしさ」だけでは、気持ちがすさんだ り、いじけたり劣等感をもったりしてしまい ます。一日の中で子供たちは、何回かほめら れたり、注意を受けたりする機会があると思 います。子供が、どうしてほめられたのか、 なぜ注意をされたかに気付くことができる経 験をさせることが大切です。

運動会への取組もあります。それに限らず、 日々の取組が、そんな学習活動になるよう全 力でサポートします。